



2025 年大阪・関西万博 第 1 回ウガンダ・日本貿易投資フォーラム

ウガンダ共和国は、大阪商工会議所（OCCI）およびジェトロ（JETRO 日本貿易振興機構）の協力を得て、関西地域の民間セクターを第 1 回ウガンダ・日本貿易投資フォーラムにご招待することを発表致します。

フォーラムのテーマは「ウガンダと日本間の貿易と投資の促進」です。

日時： 2025 年 6 月 19 日（木） 9:15AM-14:15PM 受付 8:30AM～

会場： ザ・リッツ・カールトン大阪、ザ・グランド・ボールルーム ウェストルーム
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 2 丁目 5 番 25 号

参加すべき理由：

1. 東アフリカに位置するウガンダ共和国は、24 万平方キロメートルの土地の 80%以上が耕作可能であり（ただし、完全に利用されているのは 50%未満）、雨季が 2 回あり、一年中生育可能な気候であるため、高品質でオーガニックな持続可能な食糧生産にとって、比類のない自然の利点を備えています。
2. ウガンダはアフリカの中心という戦略的な位置にあり、4 億人を超える消費者を抱える 3.1 兆米ドル規模の地域市場（EAC 東アフリカ共同体、COMESA 東南部アフリカ市場共同体、AfCFTA アフリカ大陸自由貿易圏）へのかつてないアクセスを提供しています。そのため、ウガンダはアフリカにおける戦略的なビジネスと投資の拠点となっています。
3. 食品加工 - 農業・農産物加工分野、特にコーヒー、紅茶、ココアといった嗜好作物分野、熱帯果実、野菜、スパイス（バニラなど）といった園芸分野、魚介類および魚介製品、特に粉乳やカゼインといった乳製品、その他様々な加工食品分野における未開拓のビジネスチャンスについて、ぜひ探求し理解を深めてください。「農産物分野で高い可能性を秘めた数多くの事業にいち早く投資する先駆者になりましょう」

4. 技術と知識の移行を通じて、ウガンダの産業部門の革新と近代化の最前線に立ちましょう。日本の投資家とアグリテック企業は、近代化を切望する市場に、先進技術、精密農業、そしてサプライチェーンの革新をもたらすことができます。戦略的パートナーシップにより、契約農業から輸出志向の加工施設に至るまで、拡張可能な機会が生まれます。

この記念すべきイベントの席を確保するために、今すぐご登録ください。登録はこちらから：<https://bit.ly/43g4yIf>



ウガンダ代表団のメンバーとの一対一の面談のリクエストでは、代表団には以下の代表者が含まれます。

- ウガンダ共和国 貿易・産業・協同組合省
- 農業畜産水産省
- 駐日ウガンダ共和国大使館
- ウガンダ フリーゾーン・輸出促進庁
- ウガンダ投資庁
- ウガンダ国家基準局
- ウガンダ開発公社
- ウガンダ民間セクター財団
- コーヒー、紅茶、ココア、熱帯果物と野菜、スパイス、魚（淡水 魚）、乳製品、切り花の生産者および輸出業者。

ウガンダ代表団は、貿易産業協同組合省貿易担当国務大臣が率います。

詳細については、下記までお問い合わせください。

Ms. Evelyn Ngalonsa イブリン・ンガロンサ (Ms.)

駐日ウガンダ共和国大使館（東京）

住所：〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目6番44号 乃木坂フォレスト3階

電話：03-6384-5516

メール：ugabassy@tokyo.email.ne.jp